胃がん検診実施状況調査票(令和7年度検診実施分)

	Σ	【市町村が実施する	がん検診にこ	ついて、東京都で	は、国の指針に基	づく検診の実施	を推奨しています。	
	自治体名				記入			Ī
	所属				担当者			
		※がん検診とし	て実施してい	いるか否かに関わ	らず、公費による	検査は回答の対	象になります。	
影	問1				黄色のセルにチェ	ックや配入をした	:場合は、指針外の検診	に該当します。
	① 検診方法	(胃部エックス線	検査)		実施している	→設問1-②へ	実施していない	→設問1-6へ
町	② 検診方式	(実施している検	診方式 全て を	選択)	集団検診		個別検診	→設問1-③へ
部エッ	③ 対象年齢	(いずれかを選択))		40歳以上 ※ただし、年齢以外のは右欄を選択。(「前:		立記以外の年齢	→設問1-③-aへ
クス線		ックス線検査の指 教えてください	針外対象年齢	や付している		axis i v		
検査		歳以上」、「40歳 (いずれかを選択)		犬者」等)	2年に1回		1年に1回	→設問1-④へ
		は毎年ありますか。			はい(前年度に受	→設問1-5へ 診歴が無ければ	いいえ(奇数年もしく	→設問1-⑥へ は偶数年しか
	© X02108Z	1844008977			受診可能)	→設問1-6へ	受診できない)	→設問1-⑥へ
	⑥ 検診方法	(胃内視鏡検査)			実施している	→設問1-⑦へ	実施していない	→設問2へ
	⑦ 検診方式	(実施している検	診方式 全て を	選択)	集団検診		固別検診	→設問1-8へ
胃内視	⑧対象年齢	(いずれかを選択)			50歳以上 ※ただし、年齢以外の 合は右欄を選択。(「I 除く。)	条件も付している場 前年度未受診者」は →設問1-⑩へ	基記以外の年齢	→設問1-®-aへ
鏡検査		鏡検査の指針外対 ください	象年齢や付し	ている条件を		18001	<u> </u>	- BAGT G A.V
Ħ	(例: 「4(O歳以上」、「50 (いずれかを選択)		症状者」等)	2年に1回		1年に1回	→設問1-9へ
		は毎年ありますか。	, 		はい(前年度に受ければ受診可能)	→設問1-⑩へ 診歴が	いれる(奇数年もしく年しか受診できない)	→設問2へ は偶数
	(X D IM Z I				上無ければ安診可能)	→設問2へ	400 200 (800)	→設問2へ
		を選択)	マッコバック できます できまる こうしゅう こうしゅ できまる こうしゅ こうしゅう こうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう		×=	ゲン検査のみ		J抗体検査のみ
	③ 受診間隔	(対象年齢毎に違	う場合は、そ	れぞれ記入)				
	④ 設問2-①で選択した検査 以下、「リスク検査で高リスクを表 以下、「リスク検査」と関うで表 、アリスク検査 と関う ではない。 との ひ設問 1-① (胃郎エックス線検査) 及 ひ設問 1-⑥ (胃内規線検査) の 受診機会について リスク検査の他に指針に対している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			査で高リスクとな査の対象者は、指査を受診する場合査の他に指針に沿→具体的に	った場合は、同年度 針に基づく胃がん検 、指針に基づく胃か	の指針に基づく間 診の対象者に当て が人検診を受ける。 ・胃内視鏡検査)を	骨がん検診は受診できな てはまることはないため ことができない。	
	⑤ 検査方法(いずれかる)		HUDITO	ン検査及び ターピロリ抗体検 *** 方法 (検査名	查	ン検査のみ	<mark>^リコバクターピロリ</mark> ;)	抗体検査のみ
	(対象年齢 (検査・							
⑦ 受診間隔(対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入)								
⑧ 設問2-⑤で選択した検査以下、「リスク検査で高リスクとない下、「リスク検査」とする。)を受診する場合の設問 1-①(胃部エックス線検査)及び設問1-⑥(胃の規線検査)の受診機会について リスク検査の他に指針に光しての他 ー具体的				った場合は、同年度 、指針に基づく胃が 針に基づく胃がん核	の指針に基づく。 がん検診を受ける。 ないないないでは、 ではいいでは、 ではいでは、 ではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいでは	号がん検診は受診できな ことができない。 てはまることはないため		
_			onleret : -		444 4000 - 1			
	種類	〇指 検査項I		市町村で実施する	がん検診の内容(令対象者	計117年7月一部	改正) 受診間に	
胃がん検診 問診に加え、胃部エックス線検査又 ※当分の間、胃部		50歳以上		2年に1				

	○指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容(令和7年7月一部改正)					
種類	検査項目	検査項目 対象者				
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又 は胃内視鏡検査のいずれか					
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検査 及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回			
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	別診及び便潜血検査 40歳以上				
子宮頸がん検診 (細胞診)	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び 内診 必要に応じてコルポスコープ 検査	20歳以上(女性)	2年に1回			
子宮頸がん検診 (HPV検査単独法)	問診、視診、HPV検査	30歳以上(女性)	5年に1回			
乳がん検診	質問(問診)及び乳房エックス線検 査(マンモグラフィ) ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上(女性)	2年に1回			

厚生労働省ホームページより引用(一部改変)

1

肺がん検診実施状況調査票(<u>令和7年度</u>検診実施分)

	区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。								
Γ	— E	 自治体名	0		記入				
		所属	0		担当者				
_	W. 4. 4 A. 5. A. 1. 1					·			
	※かん検診として実施しているか合かに関			- 関わらず、公費による検査は回答の対象になります。 					
	設問1			黄色のセルにチェックや記入をした場合は、 指針外の検診に該当します。					
		① 検診方法	(胸部エックス線検査)		□実施している	→設問1-②へ	実施していない	→設問2へ	
	胸	② 検診方式	(実施している検診方式 <u>全て</u> を選択)		集団検診		□個別検診	→設問1-③へ	
	部エック	③ 対象年齢	(いずれかを選択)		40歳以上 ※ただし、年齢以外の条いる場合は右欄を選択。 未受診者」は除く。)		└─左記以外の年齢	→設問1-③-aへ	
	ス 線	付してい	ックス線検査の指針外対象年齢や 1る条件を教えてください 歳以上」「40歳以上の喫煙者」			AXIELL CO.		→設問1-④へ	
	検 查		歳以上」「40歳以上の喫煙者」。 (いずれかを選択)	寺)	□1年に1回	→設問1-⑤へ	□左記以外の受診間隔	→設向1-4/へ →設問1-4-aへ	
			ックス線検査の指針外受診間隔 年に1回」等)			DXI-01 W			
L	_	() - - -						→設問⑤ <u>へ</u>	
	喀	⑤ 検診方法(喀痰細胞診)			□実施している	→設問1-⑥へ	□実施していない	→設問1-⑥へ	
	痰細	(対象 () 本われを習わ)			□50歳以上で喫煙指数	数600以上の方 →設問2へ	□左記以外の対象者	→設問1-⑦へ	
	胞診						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	→設問2へ	
└	複	``						02. 3	
機合も含む。 入。	数の検	受問 2 胸部エックス線検査・喀娘細胞診以外の					下記以降も記入。		
о Ф	金方	① 検査方法(いずれかを選択)			□ 胸部CT(低線量		胸部CT(低線量以外)		
6検診を実施-	〇 対 象	○ 1.17 F#A			□その他の検査方	法	(検査名:)	
実施して	年に	②対象年齢((例:「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」「30、4	10、50歳」等)					
る	り	③ 検査方法(いずれかを選択)			□胸部CT(低線量		胸部CT(低線量以外)		
場合には	方法		(V191 <i>い)</i> では1(/		□その他の検査方	法	(検査名:)	
は、複数	違う	④ 対象年齢 ((例:「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」「30,4	40、50歳」等)					
数の	 								
	_		○指針で定める区	市町村で実施	するがん検診の内容	(令和7年7月一	部改正)		
		種類	検査項目		対象者		受診間隔		
	F	胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査 又は胃内視鏡検査のいずれか	※当分の間、	50歳以上 当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上 に対し実施可		2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については 年1回実施可		
	A	肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検 査及び喀痰細胞診	※喀痰細胞	40歳以上 診は50歳以上で喫煙指	数600以上の者	年1回		
	大腸がん検診 問診及び便潜血検査		40歳以上		年1回				

厚生労働省ホームページより引用(一部改変)

2年に1回

2年に1回

5年に1回

20歳以上(女性)

30歳以上(女性)

40歳以上(女性)

子宮頸がん検診 (細胞診) 問診、視診、子宮頸部の細胞診及 び内診 必要に応じてコルボス コープ検査

問診、視診、HPV検査

質問(問診)及び乳房エックス線 検査(マンモグラフィ) ※単独での視診、触診は推奨しない

子宮頸がん検診 (HPV検査単独法)

乳がん検診

大腸がん検診実施状況調査票(<u>令和7年度</u>検診実施分)

	区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。								
	自治体名	0		記入 担当者					
	% t	がん検診として実施しているか否かに関わる	うず、	公費による	検査は回答の	対象になりま	きす。		
<u>=</u> /	2問1		黄色	<mark>のセルにチェッ</mark>	クや記入をした	場合は、 指針外	<mark>の検診</mark> (に該当します。	
	① 検診方法	(便潜血検査二日法)		実施している	→設問1-2へ	□実施してい	ない	→設問2へ	
_		(実施している検診方式 全て を選択)		集団検診		□個別検診		→設問1-③へ	
便潜血検査	③ 対象年齢	(いずれかを選択)	※た る場	40歳以上 だし、年齢以外の! 合は右欄を選択。 」は除く。)		□ 左記以外の		→設問1-③-aへ	
查二日法	るー名 使浴皿 条件を	検査二日法の指針外対象年齢や付している 教えてください 35歳以上」「40歳以上の有症状者」等)						→設問1-④へ	
	④ 受診間隔	(いずれかを選択)		1年に1回 _	→設問2へ	左記以外の受診	》間隔_	→設問1-④-aへ	
	④-a 便潜血机 (例:「2年に	検査二日法の指針外受診間隔 11回」等)						→設問2へ	
む <mark>複</mark> ご 数 の	設問2	便潜血二日法以外の検査方法を実施してい	いるは	場合 には、以	降も記入。				
む。)の検診を実施 複数の検査方法(対	① 検査方法	(いずれかを選択)		大腸内視鏡検査		(検査名:)	
し象 て 年 い 齢	② 対象年齢	「40歳以上の偶数年齢」「30,40、50、60歳」等)							
にあり検査方法が違う場合。 これの検査方法が違う場合	③ 検査方法	(いずれかを選択)		大腸内視鏡検査		(検査名:)	
の欄に記入。 違う場合も	④ 対象年齢 (例:「40歳以上」	「40歳以上の偶数年齢」「30,40、50、60歳」等)							

	〇指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容(令和7年7月一部改正)							
種類	検査項目	検査項目 対象者 受診間隔						
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査 又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上 に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検 査については年1回実施可					
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検 査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回					
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回					
子宮頸がん検診 (細胞診)	問診、視診、子宮頸部の細胞診及 び内診 必要に応じてコルポス コープ検査	20歳以上(女性)	2年に1回					
子宮頸がん検診 (HPV検査単独法)	問診、視診、HPV検査	30歳以上(女性)	5年に1回					
乳がん検診	質問(問診)及び乳房エックス線 検査(マンモグラフィ) ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上(女性)	2年に1回					

厚生労働省ホームページより引用(一部改変)

		3	宮頸がん	ん検診実施	状況調査票	(合和7年度 検診	実施分)	
		区市町村が実施	するがん様	形について、	東京都では、国	の指針に基づく検診の	実施を推奨しています。	
自	治体名		0		記入			
	所属		0		担当者			
		※がん検診	として実施	しているか否	かに関わらず、	公費による検査は回答	の対象になります。	
設局		頸部細胞診	 8		黄色のセ	ルにチェックや記入をした	と場合は、指針外の検診に	験当します。
-	-	(類部細胞診)			実施している		実施していない	
2)検診方式	(実施している検診方	式 <u>全て</u> を選択	3)	集団検診	→設開1-2へ	個別検診	→設問2へ →設問1-3へ
а	対象年齢	(いずれかを選択)			20歳以上 ※たたし、年齢以外の る場合は右脚を選択	条件も付してい (「前年度未受 →設問1-④へ	左記以外の年齢	
G		細胞診の指針外対象ないる条件を教えてく			診者」は除く。)	→設問1-④へ		→19問1-3-a^
	(例: 「18	歳以上」、「20歳以 (いずれかを選択)	上の有症状	者」等)	2年に1回	→設問1-5へ	1年に1回	→設問1-④へ →設問2へ
6	受診機会	は毎年ありますか。			はい(前年度に5 無ければ受診可能	診歴が	いし え (奇数年もしくは 年しか受診できない)	
	問2							
	30億以上の対象者に対して一律に実施する検査				□頸部細胞診	HFV検査単独法	(医師採取)	b ()
-	【回答基準】	Bから選んでください	<i>1</i> °		— IXIO MARIES → IXI III 4	.^	→設慰3へ	→19閏4へ
	「その他」(30歳以上の	こ該当) の対象者は、細胞診	とHPV検査	どちらも選択でき	きる。等			
設局	3	HPV検査!	単独法	(医師探	(知			
Œ	検体採取7	方法			液状化検体法	→設第3-2へ	左起以外の方法() →設問3-2へ
2	検診方式	(実施している検診方	式 <u>全て</u> を選択	9	集団検診		個別検診	→設問3-3^
а	対象年齢	(いずれかを選択)			30歳以上 ※ 年齢以外の る場合は右欄を選択。	集件も付してい (「前年度未受 →設問3-④へ	左記以外の年齢	→IQ間 3 - 3 - a ^
(3	8-a HPV4	検査単独法の指針外 いる条件を教えて<	対象年齢や		B 台」は味く。)	一般同3-4-1		→ <u>R</u> R3-3-3-3^
-	(例:「18)	歳以上」、「20歳以	ノ上の有症状!	者」等)	5歳刻みの節目	3年齡を設定 3年齡を設定	左記以外の間隔	→設開3-④へ
4	受診間隔				5年に1回	の5歳到みの年齢の住民が受診可能	左郎以外の問題	→設問 3-@-aへ
- 1 -	【設問3-4) 5年に1回	回答基準】 図の受診が原則だが、	追跡検査で	陰性となった者	や、検診対象の除	→設問3-6へ外要件が解除された者等が	が、5年に1回の間隔より みの節目年齢を設定」にチ	
\vdash	(指針で推奨	されるアルコリスム	7)	宮頭がん模診を	受診することにな	っている場合は「5歳刻	みの節目年齢を設定」にチ	・ェックしてよい。
4	D-a 具体的 (例:「3歳	りな受診間隔を教えて 刻みの節目年齢を設	てください。 定」等)					→1993-5 ^
5	HPV検査 毎年ありま	単独法による子宮頸 Eすか。	がん検診の多	受診機会は	l talu	→設問3-6^	เนาส	→設問3-6へ
1.	【設問3-5 直近の節目	年齢でHPV検査単	独法による子	宮頸がん検診を	受診しておらす、	かつ、前年度に細胞診に	よる子宮頭がん検診を受診	していない場合、受
Ŀ		年齢で受診しなか:		の節目年齢まで		ルルス」	<u> </u>	
- 1		の受診機会は毎年あ 「3子宮頭がん検診 S留意点(3HPV検査!		目及び各検診	(du)	→設問3-⑦へ	いいえ	→設結3-⑦へ
至	便目における 使件を満たし	S留意点④HPV検査! していますか。	単独法」に示	された5つの	lath.	→設階4へ	いい <mark>れえ</mark>	→設慰3-⑦-aへ
					HPV検査単独	実施するとともに、マニ: 法の導入時に、必要な者: 向けた研修等を受講してい	が国又は国が委託する業者	を開催主体
Ø)-a 5⊃0	要件のうち、満たも れてください。	けていないもの	かに 全て	受診者の情報		-タベース等を有し、個別	の対象者の
	M.S.V	arcare.			HPV検査単独	法を導入するに当たって	は、新しい検診方法の導入 係者の理解と協力が得られ	、について、 ていること。
					HPV検査単独	法を導入するに当たって	は、新しい検診方法につい	T、住民や →脱組4へ
分	問4	子宮体部の)検査					
IC.	宮頭がん検 子宮体部の もしています。	検査を実 実施し	ていない	間診等で体が 事施している	びんの有症状が確認 る ※1	できた場合に	左記以外の理由で実施	している ※2
38	(1 子宮野 月経算	がん検診等の問診の 開く過多月経、不見)結果、最近(則月経等)	6月以内に、不正 及び褐色帯下の	E性器出血(一過t いずれかの症状を	生の少量の出血、閉経後出 有していたことが判明した	が血等)、 に者に対して、第一選択と	して、
*	十分な	安全管理の下で多根	な検査を実	施できる医療機	関への受診を勧奨	している。 施状況調査票 に肥入を		
읤	問5	細胞診若しくは	-(PV検査単	独法以外の検	奎方法(指針外	検診) を実施している	場合 には、以下以降も記	入ください。
1	検査方法((いずれかを選択)				V検査併用法 超 電 波	検査	
	対象年齢	(例:「20歳以上」「20歳以上	o. Marcel - 100	40, 504, 50	その他の検査	方法 (検査名:)
11-		(対象年齢毎に違う規						
						に基づく子宮頭がん検診		
4	設問5- を受診す	①で選択した検 る場合の設問1) 及び設問3	19 1 95-0	1の検査の対象:			宮頸がん検診は受診できな 者に当てはまることはない	
(1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	(HPV検査事 会について	/ 及び設局の (独法) の受診機		層はない。 ①の検査を受診	する場合、指針に	基づく子宮頸がん検診は	受診できない。	
L			その他	→具体的	にお書きくださ	N ()	
Г					細 <mark>胞診・HF</mark>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	超音波検査	
∠ ■5 検査方法(いずれかを選択)			その他の検査	方法 (検査名:)		
(6) 対象年齢 (8:120歳以上) 「20歳以上の掲載年齢」「30.40,50歳」等)								
その								
8	設問5-を受診する	⑤で選択した検 る場合の設問1	_			基づく子宮頭がん検診は多く子宮頭がん検診は多く	受診できない。 者に当てはまることはない	左边巫於鄉
(類部細胞診)及び設問3 (HPV核直単独法)の受診機 会について 設問5-5の検査を受診す				響はない。				
で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○)			
_				74.103				
	種類	検査項目		める区市町村で	実施するがん検診 対象者	の内容(令和7年7月―		
	がん検診	問診に加え、胃部工 査又は胃内視鏡検査		※当分の間、電	対象者 受診問隔 50歳以上 2年に1回 書部エックス線検査については40歳以上に対し ※当分の間、博部エックス線検査につ			回 線検査については年1
	がん検診	金又は再内祝賴検査 質問(問診)、胸部 検査及び喀痰細胞診			実施可 40歳以	-	回実施	9
	がん検診	検査及び喀痰細胞診 問診及び便潜血検査		※喀痰細節	図診は50歳以上で度 40歳以」	関連指数600以上の者 ニ	年16	
子宮見	頃がん検診	問診、視診、子宮頭 及び内診 必要に応 スコープ検査	部の細胞診 じてコルボ		20歳以上(3	7性)	2年に1	0
	(細胞診) スコープ検査					I		

30歳以上(女性)

40歳以上(女性)

子宮頸がん検診 (HPV検査単独法) 問診、視診、HPV検査

質問(問診)及び乳房エックス 線検査(マンモグラフィ) ※単独での視診、触診は推奨しない

2年に1回 生労働省ホームページより引用(一部改変

5年に1回

4

乳がん検診実施状況調査票(合和7年度検診実施分)

区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。 自治体名 0 記入 担当者 所属 0 ※がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。 設問1 黄のセルにチェックや記入をした場合は、指針外の検診に該当します。 ■実施している ① 検診方法(マンモグラフィ) ≡実施していない →設問1-②へ 併用していない →設問1-③へ ② マンモグラフィに視触診を併用していますか。 □併用している 集団検診 □個別検診 ③ 検診方式 (実施している検診方式全てを選択) →設問1-④へ □ 左記以外の年齢 40歳以上 マン ※ただし、年齢以外の条件も付して いる場合は右欄を選択。(「前年度 ④ 対象年齢(いずれかを選択) Ŧ 未受診者」は除く。) →設問1-⑤へ →設問1-④-aへ グラフィ ④-aマンモグラフィ検査の指針外対象年齢や 付している条件を教えてください (例:「35歳以上」「40歳以上の有症状者」等) →設問1-5へ □1年に1回 □2年に1回 ⑤ 受診間隔(いずれかを選択) →設問1-⑥へ →設問2へ ____いいえ(奇数年もしくは偶 数年しか受診できない) はい(前年度に受診歴が無ければ受診可能) ⑥ 受診機会は毎年ありますか。 →設問2へ マンモグラフィ以外の検査方法を実施している場合には、下記以降も記入 検診を実施している場合には、複数の欄に配入。複数の検査方法(対象年齢により検査方法が違う場合も含む。 超音波検査 視触診のみ 検査方法 (いずれかを選択) □その他の検査方法 (検査名:) ② 対象年齢 (例:「40歳以上」「40歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等) ③ 受診間隔(対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入) ④ 設問2-①で選択した検査結果によって、マンモグラフィ対 □いいえ □はい 視触診のみ 超音波検査 ⑤ 検査方法 (いずれかを選択) (検査名:) □その他の検査方法 ⑥ 対象年齢 (例:「40歳以上」「40歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等) ⑦ 受診間隔(対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入) ⑧ 設問2-⑤で選択した検査結果によって、マンモグラフィ対 □はい □いいえ 象者を決めていますか。 例:視触診で異常があった場合のみマンモグラフィを実施する

	〇指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容(令和7年7月一部改正)						
種類	検査項目	対象者	受診間隔				
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査 又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上 に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査 については年1回実施可				
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検 査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回				
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回				
子宮頸がん検診 (細胞診)	問診、視診、子宮頸部の細胞診及 び内診 必要に応じてコルポス コープ検査	20歳以上(女性)	2年に1回				
子宮頸がん検診 (HPV検査単独法)	問診、視診、HPV検査	30歳以上(女性)	5年に1回				
乳がん検診	質問(問診)及び乳房エックス線 検査(マンモグラフィ) ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上(女性)	2年に1回				

その他のがん検診実施状況調査票(令和7年度検診実施分)

区市町村が 5がん(が <mark>実施する</mark> 胃・肺・フ	がん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。 「腸・子宮頸・乳)以外のがん検診は推奨されていません。
自治体名		O O 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 3 4 3 4 3 4 3 4
	*	がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。
① 検査対象(いずれかを	選択)	□ 前立腺がん □ に関する □ に関する □ 消化器 (胃・大腸以外)がん □ 子宮体がん※ □ その他のがん (検査対象がん種:)
② 検査方法 (いずれかを	選択)	PSA検査
③ 対象年齢	(例:「50歳以」	」「50歳以上の偶数年齢」「30.40、50、60歳」等)
④ 検査対象(いずれかを	選択)	前立腺がん □腹がん □ 2 消化器(胃・大腸以外)がん 正字宮体がん※ ○その他のがん (検査対象がん種:)
⑤ 検査方法 (いずれかを	選択)	PSA検査 現触診 間接喉頭鏡検査 ファイバースコープ検査 細胞診 組織染色法 腹部CT検査 よの他の検査方法 (検査名:)
⑥ 対象年齢	(例:「50歳以」	」「50歳以上の偶数年齢」「30.40、50、60歳」等)
⑦ 検査対象 (いずれかを	選択)	□ 前立腺がん □ 腔がん □ 消化器(胃・大腸以外)がん □ 子宮体がん※ □ その他のがん (検査対象がん種:)
8 検査方法 (いずれかを	選択)	PSA検査 閉接喉頭鏡検査 ファイバースコープ検査 細胞診 組織染色法 腹部CT検査 よの他の検査方法 (検査名:)

以下の場合に行った子宮体部の検査は指針外検診には該当しませんので、本箇所で回答する必要はありません。

「子宮頸がん検診実施状況調査票 設問4」にご回答ください。

ඉ 対象年齢 (例: 「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」「30、40、50、60歳」等)

・子宮頸がん検診等の問診の結果、最近6月以内に、不正性器出血(一適性の少量の出血、閉経後出血等)、月経異常(過多月経、不規則月経等)及び 褐色帯下のいずれかの症状を有していたことが判明した場合

	〇指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容(令和7年7月一部改正)						
種類	検査項目	対象者	受診間隔				
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査 又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以 上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実 施可				
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検 査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回				
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回				
子宮頸がん検診 (細胞診)	問診、視診、子宮頸部の細胞診及 び内診 必要に応じてコルポス コープ検査	20歳以上(女性)	2年に1回				
子宮頸がん検診 (HPV検査単独法)	問診、視診、HPV検査	30歳以上(女性)	5年に1回				
乳がん検診	質問(問診)及び乳房エックス線 検査(マンモグラフィ) ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上(女性)	2年に1回				

厚生労働省ホームページより引用(一部改変)